

平成30年11月16日
仙台管区気象台

仙台で初霜を観測

本日（16日）、仙台管区気象台で初霜を観測しました。
平年より6日遅く（平年は、11月10日）、
昨年より4日早い（昨年は、11月20日）観測です。

参考資料

1. 初霜とは

寒候期(秋から春に至る期間)の中で季節的な現象としての霜があった最初の日を言います。

2. 霜とは

大気中の水蒸気が昇華して、地面または地物に付着した氷の結晶。一般にうろこ状、針状、羽状または扇子状をしている。

3. これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：1944年10月3日（昭和19年）

一番遅い記録（最晩）：2004年12月3日（平成16年）

4. 観測方法

観測は露場もしくはその周辺において目視によって行い、「日」を単位としています。

本件に関する問い合わせ先

観測課 平日 08:30-17:15 Tel 022-297-8106

夜間、土日祝祭日 Tel 022-297-8141

Fax 022-297-8260